

| 事業者が特に力を入れている取り組み① |  |                              |
|--------------------|--|------------------------------|
| 評価項目               | 3-3-2  | 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている |
| タイトル①              | 事業所は地域関係機関のネットワークに参画し、地域の一員としての役割を果たしている   |                              |
| 内容①                | 心身障がい児・者施設協議会、地域療育連絡会、市六者協議会、地域自立支援協議会、子ども家庭支援センター運営協議会、特別支援学校設置校長会など、地域のさまざまな関係機関と連携を図り、調整会議や協議会等に参加して顔の見える関係づくりに努めている。こうした連携を強めながら、市の福祉計画等、地域ネットワーク内での共通課題について協働できる体制を整えて取り組んでいる。これは2019年度法人事業計画にある「今年度は、特に地域社会の福祉課題を積極的に掘り起こし、それに取り組む。」に沿うものとなっている。 |                              |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② |  |                                      |
|--------------------|--|--------------------------------------|
| 評価項目               | 6-4-2  | 【食事の支援がある事業所のみ】子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている |
| タイトル②              | 看護師、栄養士、担任、保護者が連携しておいしく楽しい食事を提供している  |                                      |
| 内容②                | 自前の厨房で毎日の給食が提供されている。担任と子ども達で話し合い厨房へ出すリクエストメニューがある。食物アレルギーに対しては保護者からの要望を看護師、栄養士が情報を共有し、担任のもとで安全に提供されている。また調理は素材のままではなく、味や香り、食感など子どもの特性を考慮し、食べやすいよう配慮している。保護者会などで検食の機会を設け、アンケートなどでも保護者の意見を聞いている。給食献立表には保護者向けのレシピを紹介するなど食育の機会ともなっている。 |                                      |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ |   |                     |
|--------------------|---|---------------------|
| 評価項目               | 6-5-1   | 子どものプライバシー保護を徹底している |
| タイトル③              | 子どものプライバシー保護に力を入れている  |                     |
| 内容③                | 子どものプライバシー保護・羞恥心に配慮した支援について当事業所は十分な対策を講じている。子どもの情報は外部に承諾なしには伝えないことを原則として、名札をつけない・原則フルネームの表示をしないなどの対応を実践している。これらのことはサービス開始のセンター長面談の際契約書を踏まえてプライバシー対策として分かりやすく説明し書面にて保護者から同意を得ている。また、着替えは外部から見えない場所で行い女兒に対しては同性介助とする等きめ細かく対応している。プライバシー対策については組織的に対応することを原則としている。 |                     |

| No. | 特に良いと思う点     |   |
|-----|--------------|---|
| 1   | タイトル         | 職員間のチームワークが良く、子どもと家族の立場にたって支援を提供している  |
|     | 内容           | 職員アンケート結果によると「職員の仲が良い。雇用形態を問わず、協力体制が整っている。」や「サービスとして、保護者や子どもに合わせた支援を心がけている。職員の連携は良い。」との声があった。当事業所は専門性への追求とさまざまな問題にチャレンジする向上心を持った多数の職員で構成されている。職員は子どもの障がい特性・体力・年齢・発達に応じたグループ分けやプログラムを提供しながら、各々連携し子どもの人権を尊重し、家族と子どもの立場に立った支援を提供している。            |
| 2   | タイトル         | 一人ひとりの意思を尊重する中で達成感を味わうプログラムの提供に工夫をしている  |
|     | 内容           | 日常生活の中で常に意思確認を行い子どもの意見を聞く場面では、意見を尊重し、主体的に参加できるよう支援している。一人ひとりの子どもが、わかりやすく見通しのもてる環境設定を常に行っており、安全で整理された環境の中で子ども達が自分の居場所としての安心感をもっていることが、表情からも読み取れた。そうした環境の中一人ひとりの子どもの強みと意欲を引き出しながら、子どもたちが達成感を味わうことのできるプログラムの提供に常に工夫している。                         |
| 3   | タイトル         | 受け入れ態勢を充実させ利用者の信頼に応えようとしている   |
|     | 内容           | きらりと保護者・子どもとの接点は入園の相談・見学時点から始まる。子どもの療育が当園の提供するサービス内容で可能かどうかを保護者と真剣に議論し判断される。入園して以降は当園の用意するプログラムに則り小学校入学まで療育が始まる。特色は個人別カルテで体調の変化を一貫してフォローできることと職員・保護者間の情報の共有力の高さにあり、当園は現状に満足することなく、地域の要として活動することに努めている。  |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |   |
| 1   | タイトル         | 目標管理シートの活用により、職員一人ひとりの育成計画（研修計画）策定が期待される  |
|     | 内容           | 法人は目標管理（行動計画）による職員育成計画に着手した。年度初めの目標設定から、数度の面接チェックを経て、翌年2月ごろの次期目標設定に至る職員の個人別評価制度である。今般の利用者アンケート調査結果や職員アンケートの「サービス項目」の高い評価に比べて、マネジメント項目中の「職員と組織の向上」における職員の評価が著しく低かった。今後、この目標管理シートの活用が研修計画の実施と連動して職員一人ひとりの育成システムとなることが期待される。                     |
| 2   | タイトル         | 子ども達の交流や地域の資源を活かした活動へのさらなる取り組みを期待したい  |
|     | 内容           | センター全体としては専門性を活かし、地域に根ざした積極的な取り組みを行っている。そうした中で、地域の子ども達や保護者との交流については、様々な意見があり、積極的に活用するには至っていない。子ども達の交流や地域の資源を活かしたさらなる取り組みを通じて、通所や放課後等ディサービスで行われている子ども一人ひとりへの支援のあり方が、地域の子供達やその保護者にとって大きな気付きとなることが期待される。   |
| 3   | タイトル         | 業務マニュアルを一定の書式にまとめることが望まれる   |
|     | 内容           | 療育方針や指導方法、療育プログラム等、療育の日課として行う基本的事項について業務マニュアルの作成に着手し、毎月の職員会議で各クラスや担当する係・役割等から報告をする場を設けている。お互いの業務を知るとともに、誰もが実施できるように手順や内容の確認をしている。こうしたマニュアルや業務の確認作業を進めることによって、業務の標準化が図られ、職員による支援のバラツキを防ぎ、業務の一定水準を確保できる。事業所は現在進行中の業務マニュアルの確認を一定の書式にまとめることが望まれる。 |